

製品名: CDK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe04136**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK2
別名	CDK2; CDKN2; Cyclin-dependent kinase 2; Cell division protein kinase 2; p33 protein kinase
遺伝子 ID	1017
SwissProt ID	P24941
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

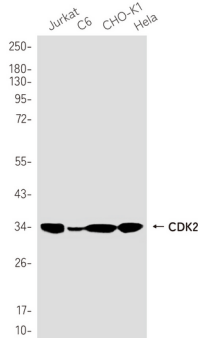
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質は、M期促

進因子 (MPF) として知られる高度に保存されたタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットであり、真核生物の細胞周期における G1/S 期および G2/M 期の移行に必須です。

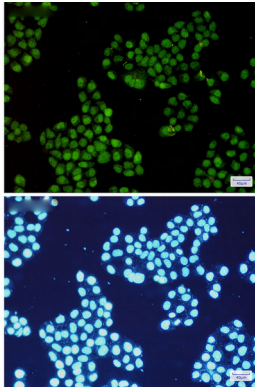
研究分野

細胞生物学

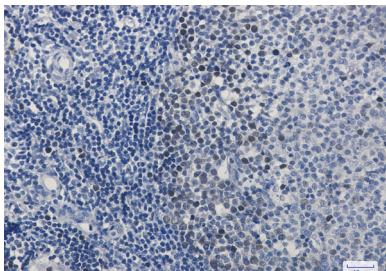
画像データ



CDK2 抗体を使用した、Jurkat、C6、CHO-K1、HeLa 溶解物中の CDK2 のウエスタンブロット分析。



CDK2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の CDK2 (緑) の免疫細胞化学分析



Cdk2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。